

「議員、官僚、大企業、警察等の信頼感」調査 (調査結果の概要)

2015年12月
一般社団法人 中央調査社
CENTRAL RESEARCH SERVICES, INC.
東京都中央区銀座6-16-12
電話03-3549-3121

世論調査、市場調査の専門機関である一般社団法人 中央調査社(会長 西澤 豊)は、「国会議員」「官僚」「裁判官」「マスコミ」「銀行」「大企業」「医療機関」「警察」「自衛隊」「教師」の信頼感に関する意識調査を実施しました。調査は、2015年9月4日から13日にかけて、無作為に選んだ全国の20歳以上の男女個人を対象に個別面接聴取法で行い、1,200人から回答を得ました。主な調査結果は以下のとおりです。

なお、この調査は、2000年3月、2001年12月、2004年5月、2007年7月、2008年8月、2009年12月、2012年5月にも実施しており、今回が8回目となります。

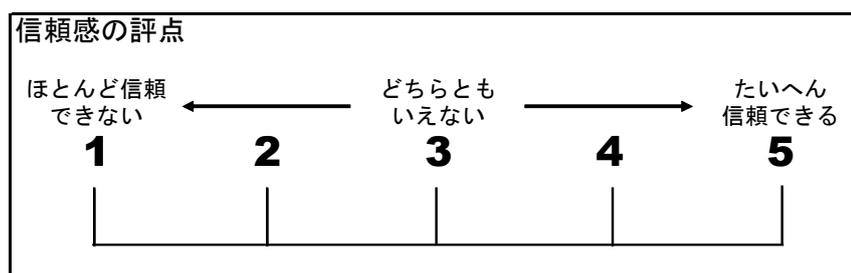
—「官僚」「国会議員」に対する信頼感は依然低迷しているものの、やや改善—

—「信頼されるよう努力してほしい」のは「国会議員」が最多—

—「情報公開が進んでいないと思う」機関は「官僚」「国会議員」の順—

1. 信頼感

国会議員、官僚、裁判官、マスコミ、銀行、大企業、医療機関、警察、自衛隊、教師に対する信頼感を、「ほとんど信頼できない」の評点「1」から「たいへん信頼できる」の評点「5」の5段階で評価してもらった。

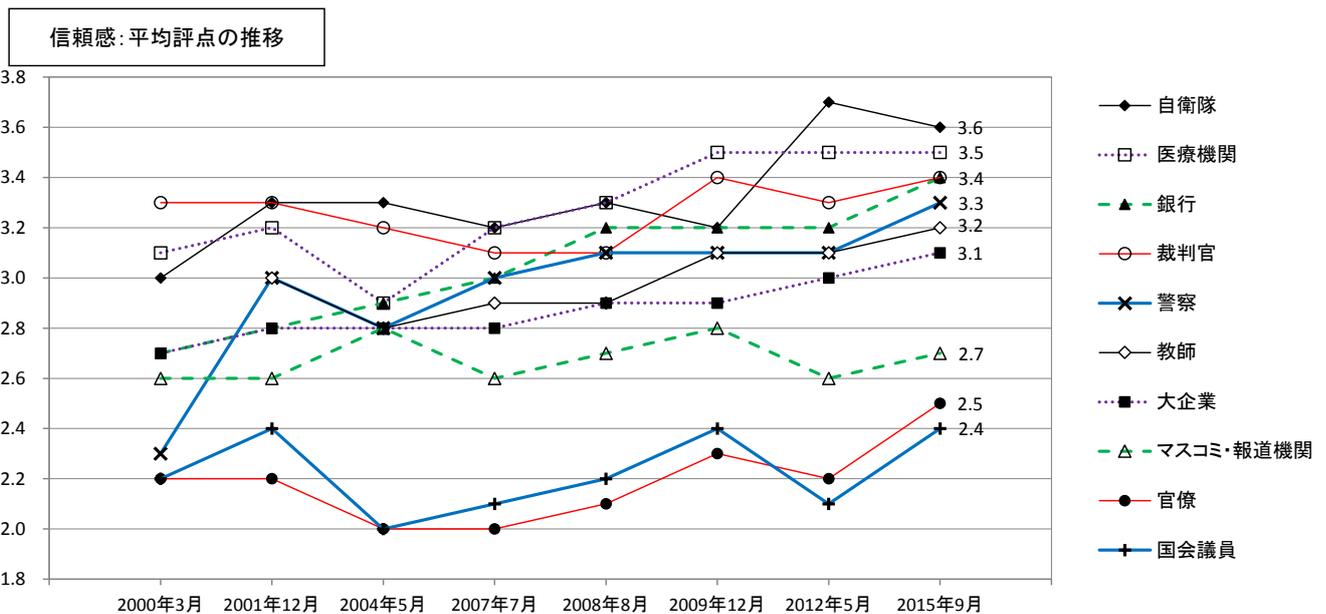
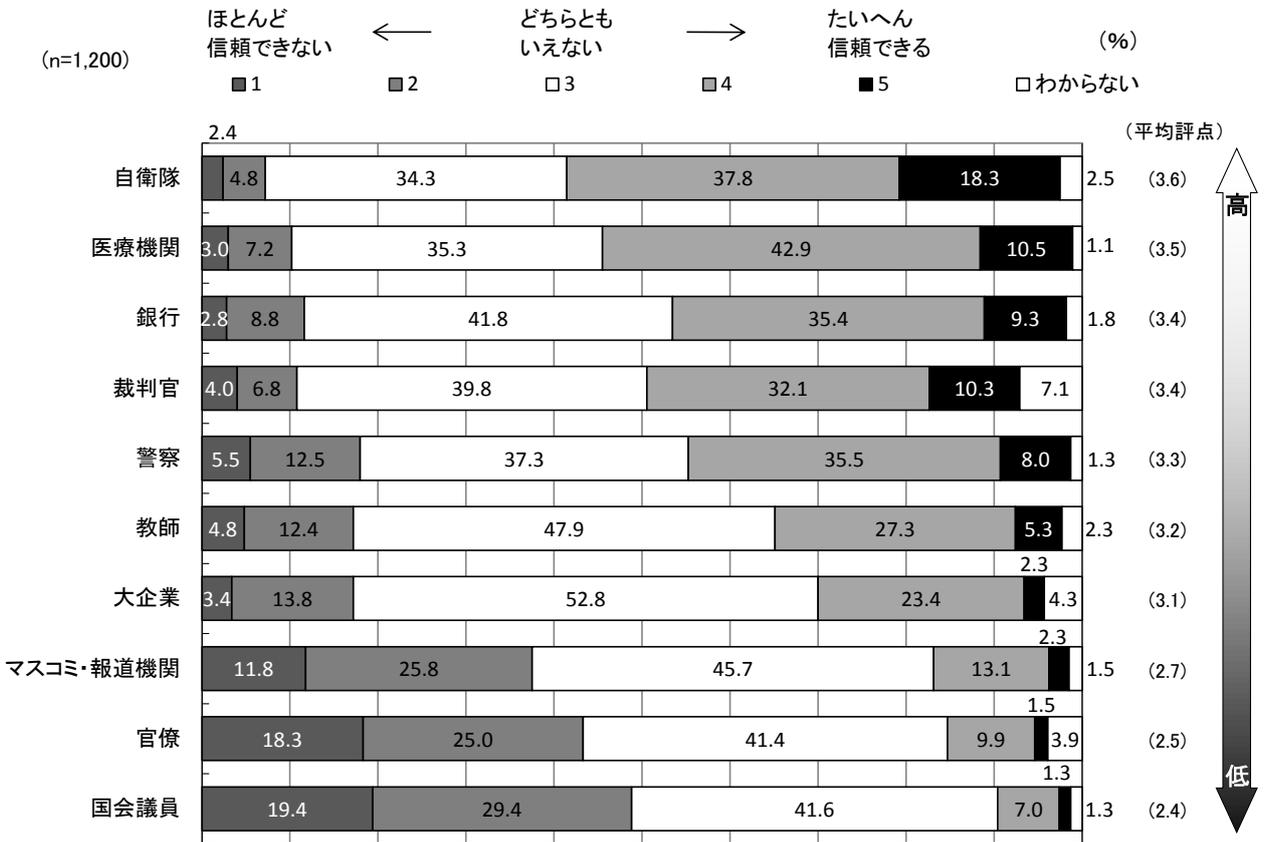


平均評点が高かったのは、自衛隊(3.6)と医療機関(3.5)である。自衛隊に対する評点は、前回調査から0.1ポイント低下したものの、前回に続いて相対的に最も高い評点を得ている。医療機関に対する評点は、前回調査と同じ結果であった。次いで、銀行と裁判官(共に3.4)、警察(3.3)、教師(3.2)、大企業(3.1)が続き、いずれも前回調査より評点が0.1~0.2ポイント上昇している。

一方、マスコミ・報道機関、官僚、国会議員に対する平均評点は、それぞれ2.7、2.5、2.4と低くなっているが、いずれも前回調査よりは上昇している。前回と比べて、マスコミ・報道機関は0.1ポイント、官僚と国会議員は0.3ポイントの上昇となっている。国会議員と官僚に対しては、「信頼できない」

として評点「1」や「2」をつけた人の割合がそれぞれ49%、43%と4割を超えているものの、前回調査（それぞれ63%、57%）と比べると、「信頼できない」と答えた人の比率は大幅に下がっている。

信頼感 問. ここにあげた日本の機関や団体などについて、あなたはどの程度信頼できると感じますか。「たいへん信頼できる」を5、「ほとんど信頼できない」を1として、それぞれについて5段階で評価してください。



※「教師」は2001年12月調査から調査開始

2. 信頼されるよう努力してほしい機関・団体

「国民に信頼されるよう努力してほしい」機関・団体としては、国会議員を66%の人が1番目としてあげている。

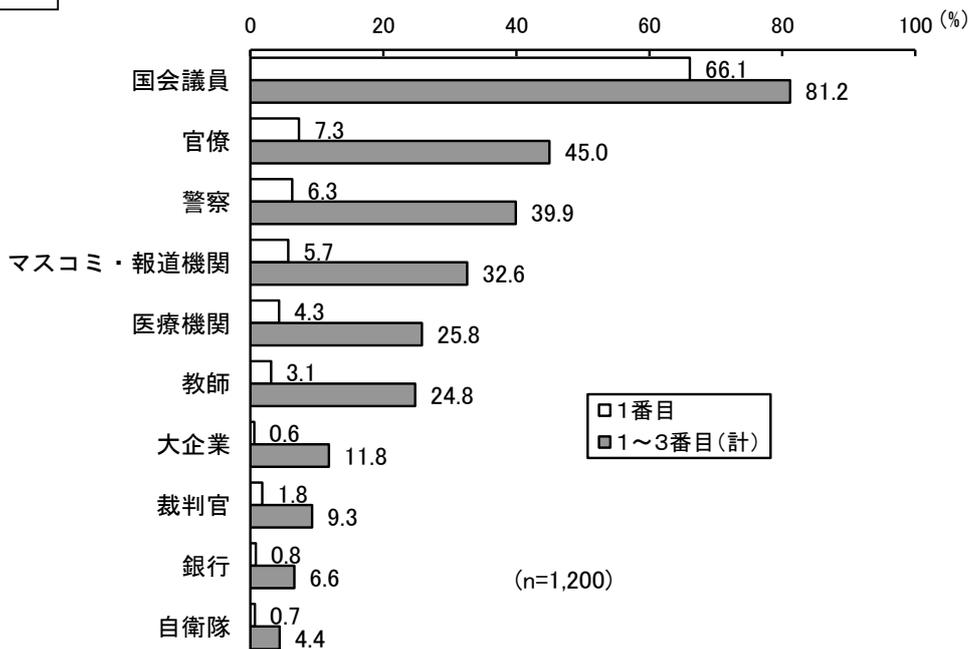
3番目まであげてもらった合計でも国会議員(81%)が最も多く、次いで、官僚(45%)、警察(40%)の順となった。

国会議員は過去の調査でもトップにあげられているが、1番目にあげた人の比率は前回(69%)から3ポイント低下、1～3番目の合計比率は前回(86%)から5ポイント低下している。官僚も同様に、1番目にあげた人の比率(7%)が前回(9%)から2ポイント低下して、1～3番目の合計比率は前回(55%)から10ポイント低下している。

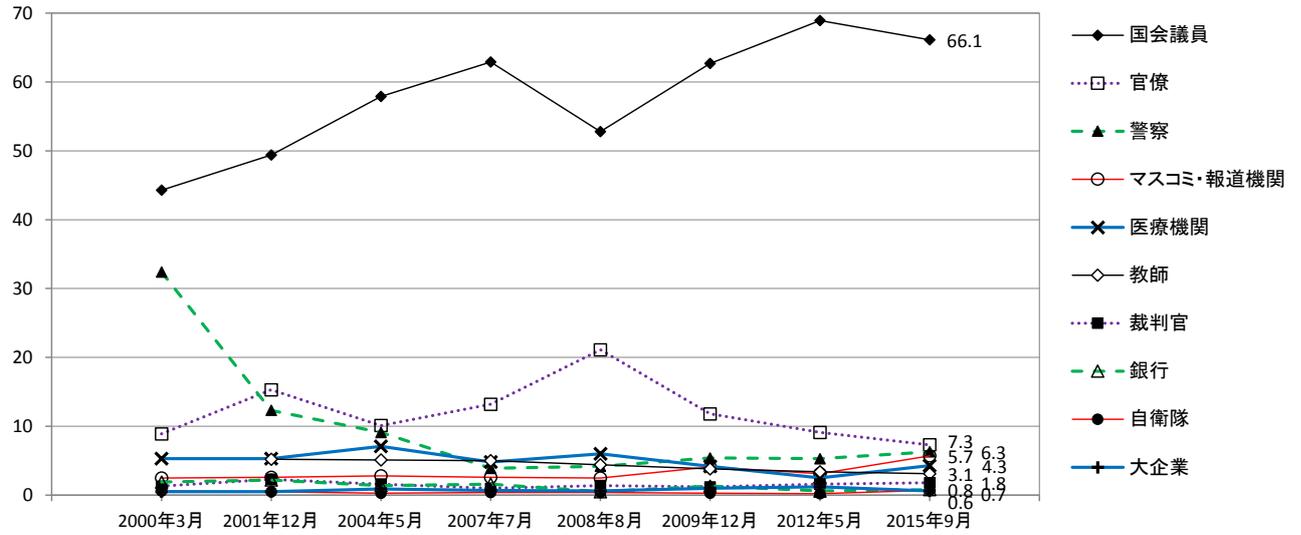
一方、マスコミ・報道機関と医療機関は前回調査よりも比率が上昇している。マスコミ・報道機関は、1番目にあげた人の比率(6%)が前回(3%)から3ポイント上昇、1～3番目の合計比率(33%)は前回(26%)から7ポイント上昇している。医療機関は、1番目にあげた人の比率(4%)は前回(3%)から1ポイントの上昇だが、1～3番目の合計比率(26%)は前回(16%)から10ポイントの上昇となっている。

信頼されるよう
努力してほしい

問. あなたがいま、国民にもっと信頼されるよう努力して欲しいと思う日本の機関や団体は、この中ではどれですか。強く感じるものから順に、3つまであげてください。

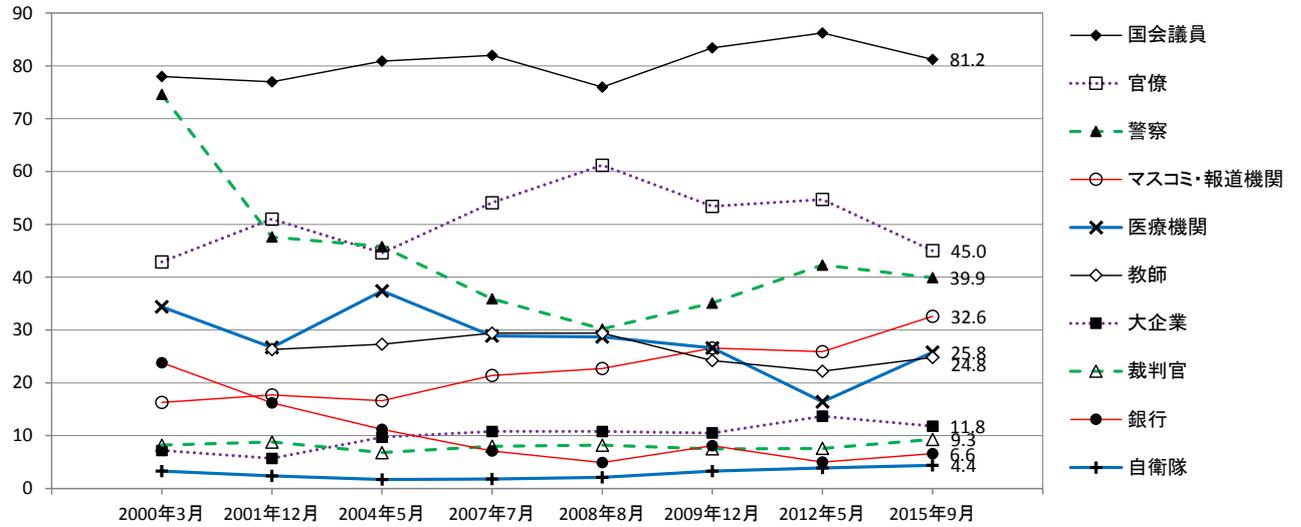


信頼されるよう努力してほしい：1番目の推移(%)



※「教師」は2001年12月調査から調査開始

信頼されるよう努力してほしい：1～3番目(計)の推移(%)



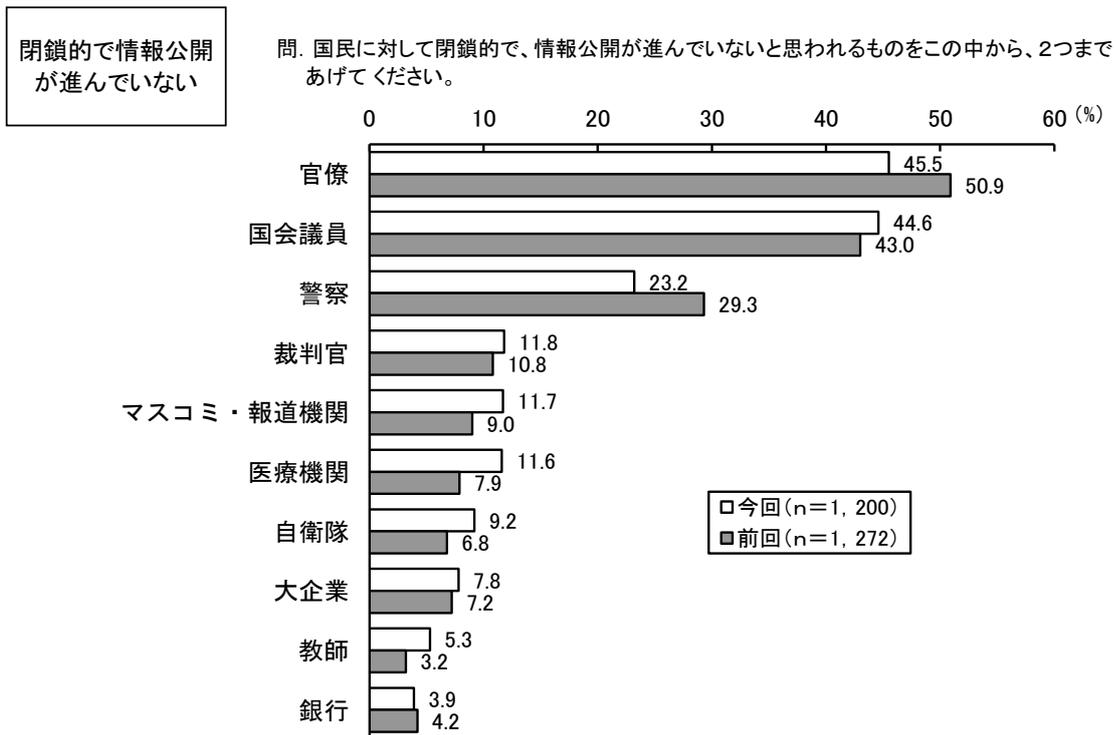
※「教師」は2001年12月調査から調査開始

3. 閉鎖的な機関・団体(国民に対する情報公開)

「閉鎖的で、国民に対して情報公開が進んでいないと思う」機関・団体を2つまであげてもらったところ、官僚が46%で前回調査に続いてトップにあげられたが、前回(51%)に比べ5ポイントの低下となっている。次いで多い国会議員(45%)は、前回調査(43%)より2ポイントの上昇したため、官僚とは僅差となっている。

警察(23%)は前回調査(29%)より6ポイント低下している。

以下、裁判官、マスコミ・報道機関、医療機関(共に12%)、自衛隊(9%)が続き、これらは1~4ポイントの上昇となっている。



(調査の設計・方法など)

- (1) 調査地域 全 国
- (2) 調査対象 満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 4,000
- (4) 抽出方法 層化三段無作為抽出法
- (5) 調査方法 調査員による個別面接聴取法
- (6) 調査時期 2015年9月4日～13日
- (7) 有効回収数 1,200

(問い合わせ先) 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12
一般社団法人 中央調査社 (担当 絹川)
TEL 03-3549-3121 FAX 03-3549-3126
ホームページ : <http://www.crs.or.jp>